

暑い日が続いていきます。連日の天気予報では熱中症に注意するよう呼びかけられています。特に高齢者には、のどが渇いていなくても水を飲むようにとか、エアコンを躊躇なく使うように呼びかけられ、さらにエアコンの設定温度まで具体的に指示されています。それはそれでありがたいことと思いつつも、ただ家でエアコンを一日中つけっぱなしにすることには、電気代のことを考えるとどうしても抵抗感を拭うことができません。しかし最近の暑さは、そんなのんきなことを言っておられないのも事実です。高齢者の熱中症は命に関わると脅されているからです。

そこで考えたのですが、日中は家でエアコンを使うのではなく、プチ避暑に出かけるようにしています。一番手っ取り早いのは、近くにある〇〇〇モールです。多くのお店がありますが何かを買うのではなく、店の前を素通りしてひたすら歩くことです。少し疲れたと思えば備えられているソファに座って、いろんな人が行き来するのを眺めています。百人いれば百通りのスタイルと歩き方があることに、驚きながら「人のふり見てわがふり直せ」と、言い聞かせています。また隣の人のようにお昼寝するのもよし、本を読むのもよし、もう一度歩き出すのもよし、何ものにも束縛されない自由を味わっています。

しかしそれよりも、今このモールに集まっている人々が、全員家に帰りエアコンを使えばその電気代はどのくらいになるのでしょうか。少なくともわが家の電気代の節約になっていることは間違いありません。それだけでなくモール内を歩き回ること、いい運動になっているという満足感も同時に味わっています。

もう一つプチ避暑にふさわしい場所は、公共図書館です。阪南市立図書館も悪くはないですが、少し狭く蔵書も多くありません。お薦めは岩出市立図書館です。池と山の緑に囲まれた静かな場所にあり、阪南市に比べて蔵書も多く、建物も駐車場も広く余裕があります。泉南、阪南方面から行けば、「新風吹トンネル」を抜けて峠を降りたところにあり便利です。暑さを避けて、一日ゆっくり本に囲まれる雰囲気は、何にもまして至福の時です。

「聖書」も蔵書されています。時には暑さを避けて、静かな環境で聖書のことばに触れ、することは、電気代の「節電」だけでなく、心と体の「蓄電」にもなるように思います。